秋葉1丁目

ふれあい通信

第 85 号 平成 25 年 11 月 1 日 秋葉区秋葉一丁目 町内会会長 大貫敬一

防災避難訓練が開催されました

9月29日(日)に秋葉町内自主防災会主催によるに**防災避難訓練**が実施されました。午前8時半に地震が発生し、一部で家屋倒壊したとの想定の下に、

家庭内の火元確認、安全確認を行った上で、 9時より避難が開始されました。

避難は各隣組でまとまり、参加者確認した上で一次避難所(新津高校付近では直接、避難所である新津高校へ)に避難しました。一次避難所では各隣組毎の参加人数等を集約するとともに、チェックシートを回収し、各所の「グループ長」による災害時の注意事項等についてのお話を聞きました。高齢者等で



(新津高校の避難所に集合)

これ以上の参加は体力的に困難な方以外の健常者は更に新津高校にある避難所に向かいました。

新津高校の避難所では全体の参加人数の集約、チェックシートの回収を行った上で、秋葉町内自主防災会長(本年度は秋葉3丁目町内会長)のお話を聞き解散しました。

当日、秋葉1丁目では確認されただけで227世帯300人が参加されました。 現在町内の全世帯数340の3分の2の世帯が参加されたことになります。東 日本大震災の被害に遭われ、秋葉1丁目の住宅にお住まいの方々も参加され ました。参加された皆様方に心よりお礼申し上げます。

チェックシートには多くの意見等が記載されました。一部を紹介します。

- ・雨・風の天気の状況等天気予報などで情報収集している
- ・非常用の水・食料・防災セットの準備はできている。
- ・非常用の水・食料の準備が必要(まだ準備はできていない、不十分)
- 簡易ガスコンロのガスを備えておく
- ・火の元に注意している。
- ・災害が夜の場合 不安
- ・高齢者がいるので災害時の避難は困難
- ・秋葉は高齢者が多く、かつ高齢者のみの世帯も少なくない。災害時にこのような高齢者をいかに迅速に避難させるかが課題。
- とっさの場合にちゃんとした行動がとれるように訓練は必要。毎年訓練した方が良い。

秋葉で想定される災害には地震、風害(台風)、豪雨(土砂崩れ、浸水)雪 害等が考えられます。また火災等の危険も考えておかなければなりません。 地震に関しては、佐渡北方沖が地震の空白域となっており、新潟県内では 地震の可能性が高いとされています(今後30年以内発生確率3~6%)。また、 江戸時代(1828年)に現在の三条市に発生した「三条地震」と、1964年の「新 潟地震」震源域との間(新潟平野)を空白域とする考えもあるようです。

秋葉1丁目は秋葉丘陵の北端部に位置し、その尾根筋、秋葉川や小泉団地西側から中沢町方面に向かう谷部、せせらぎ遊歩道沿い等の多様な地形よりなり、それぞれに遭遇しやすい自然災害も異なります。傾斜があるところでは地すべり・土砂崩れ等が考えられます。谷筋やせせらぎ遊歩道沿いでは豪雨時の溢水・浸水の危険があります。七色の池付近は豪雨等で土砂が崩れ、ここに溜まった水が一気に土石流として流れ下る危険性があり、秋葉川流域の一部が「土砂災害危険区域」となっています。

このように、どのような危険があるかは立地条件により異なります。自分の家はどうなのか、またその場合はどう対処したら良いかについて、常日頃考えておくことが重要です。

どのような災害、そしてそれはどの程度なのかにより、対処方法が異なる場合もあります。避難するのか、家にとどまるのか。避難する場合はどのようなルートでどこに避難するのか等々について考えておくことも必要です。 災害時における家族間の連絡の取り方等も決めておくと良いでしょう。

気象災害については、テレビ等で気象状況を把握し、警報が出たら注意し、 避難勧告が出されたら躊躇せずに避難してください。今の気象予測は完全無 欠ではありません。10回の避難勧告のうち9回が「空振り」だったにしても 1回の被害遭遇を回避するためにも避難することが重要です。

先般の伊豆大島での災害では町役場の不手際から避難勧告が出されず、大きな被害につながりました。避難勧告が出されなくても避難の必要性を感じたら避難するようにしなければなりません。

「自助:共助・公助」という言葉がありますが、災害の際、特に急を要する場面では第一に自助(自分の判断で自分や家族の安全を図る)が重要です。 高齢者がおられる場合等は隣近所の「共助」が必要となる場合もあります。 日頃の近所づきあいに心がけたいものです。

<u>花壇の秋の作業が行われました</u>

10月27日(日)10時より、ボランティアで参加していただいた町内の皆様や「花の会」の皆様により、夏の間美しい花で私たちを楽しませてくれた花壇の整理(枯れた花を除去、草取り、周辺の刈り払い等)を行いました。花壇も冬支度となりましたが、来年はまたきれいな花々で私たちを楽しませてくれることでしょう。

塩原ユリ 様 平成 25 年 4 月逝去 中川 洋 様 平成 25 年 4 月逝去 溝口トミ 様 平成 25 年 5 月逝去 渡辺 勇 様 平成 25 年 7 月逝去 中村 稔 様 平成 25 年 8 月逝去 山名 綾 様 平成 25 年 10 月逝去 (4月以降、町内会にご連絡があった方々を掲載しています)